



流れ藻と魚の群れ
メダイという名の魚種で、流れ藻の下などで群れを作って生活しています。

(写真・文 水中カメラマン 佐藤長明さん)

海のオアシス

沖合の水面には、沿岸域からちぎれて流れ出た藻が、潮目に沿って道のようにできた場所があります。こうした藻場を「流れ藻」と呼びます。

以前にも流れ藻のお話はしましたが、今回ご紹介するのは、水深100メートル以上の沖合にできた流れ藻です。こうした沖合には、イルカやクジラ、ウミガメにマンボウなど様々な大物が出現します。また、水面には海鳥が鳥山を作るなど、非日常の世界が広がっています。

生物が多いという事は、餌となる生き物も豊富です。餌となる生き物たちは、生き残りのための知恵を得ています。それは、捕食圧の少ない水面付近であり、水面で生活する鳥類からも身を守れる流れ藻です。そして、流れ藻には彼らの餌となる小型甲殻類も豊富です。

まさに、彼らにとってのオアシスなのです。

編集後記

▶夏の風物詩のひとつであるホタル。町の文化財保護委員会では、毎年7月上旬に町内数カ所の河川で「ホタル生息状況調査」を実施しています。今年は、その調査に同行しホタルの撮影にチャレンジしてみました。▶プロでも難しいと言われているホタルの撮影。撮影のコツを事前に調べ、準備万端で挑んだのですが、私が同行した大上坊の調査地点にはホタルの集団が見当たらず、その日は撮影を断念。調査結果を聞くと、例年よりもホタルの数は減っているが、入谷地区で多く見られたとのこと。そして翌日、入谷にて再度挑戦！ただし、頼りになる文化財保護委員の方の代わりに、目をランランと輝かせる4歳の息子を連れて…。▶予想どおり、暗闇を怖がる息子に抱きつかれ、撮影も何もできずに帰宅。でも、久しぶりに見るホタルはとてきれいで、忘れかけていた何かを思い出したような気がしました。来年こそは、撮影を成功させたいと思います。もちろん息子にナイショで。 担当 加藤

南三陸町ホームページ

パソコン用

<http://www.town.minamisanriku.miyagi.jp/>

携帯電話用

<http://www.town.minamisanriku.miyagi.jp/m/>



ホームページ
(携帯電話用)

南三陸町メール配信サービス登録ページ

<http://m.town.minamisanriku.miyagi.jp/>



メール配信サービス登録

●日曜当番医

8/2 本田記念あおいクリニック
☎46-4530(志津川字十日町)

8/9 南三陸志津川クリニック
☎47-2777(志津川字塩入)

8/16 上田クリニック
☎36-2316(歌津字中山)

8/23 鎌田医院
☎36-2008(歌津字伊里前)

8/30 ささはら総合診療科
☎47-1066(志津川字汐見町)

9/6 佐藤徹内科クリニック
☎47-1175(志津川字廻館前)

●第1・第3日曜歯科当番医

8/2 阿部歯科医院
☎46-5678(志津川字大森町)

8/16 大谷歯科診療所
☎44-3131(本吉町三島)

9/6 佐藤歯科クリニック
☎46-4182(志津川字南町)

※診療時間受付は午前9時～午後5時。
※日曜当番医は、変更となることがありますので、あらかじめ電話で確認してください。受診の際は保険証をお持ちください。